

科目名称：	会計実務演習 I	
担当者名：	藤元 宏一、小酒 義幸、眞田 浩一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	2
授業の目的・テーマ		
本演習では、経営全般を計数的に捉え理解し、財産管理・経営成績・財政状態を見て考えることにより、経営改善や仕事の改善のヒントを見つけだそうとする意欲と知識・技能を持った経営人材の育成をめざしている。そのため、簿記の基本的な仕訳、各種帳簿の扱い方、試算表、精算表の作成方法、決算処理について学んでいく。		
授業の達成目標・到達目標		
7月に行われる全国経理教育協会の簿記能力検定試験3級合格を授業の達成目標とする。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)				100	100
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 小酒 義幸：税理士	《経験年数1》 21年
	《内容2》 眞田 浩一：税理士	《経験年数2》 20年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
勘定科目（全経簿記3級試験範囲）	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を完全に答えられる。	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を80%正確に答えられる。	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を60%正確に答えられる。	資産・負債・純資産・費用・収益の区別を60%未満しか正確に答えられない。
仕訳（全経簿記3級試験範囲）	仕訳を、応用まで全て正確に解答できる。	仕訳を、応用までほぼ正確に解答できる。	仕訳を、基本はほぼ正確に解答できる。	仕訳を、基本もほとんど正確に解答できない。
精算表（全経簿記3級試験範囲）	精算表問題を、応用的な内容まで全て正確に解答できる	精算表問題を、応用的な内容までほぼ正確に解答できる	精算表問題を、基本的な内容はほぼ正確に解答できる	精算表問題を、基本的な内容もほとんど正確に解答できない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 授業の進め方、成績評価について、Chap1 身のまわりの簿記	教科書の1-1～1-11を事前に読んでおくこと	20分
第2回 Chap2 仕訳と転記（Sec1 仕訳ってなに？）	Sec1 仕訳ってなに？の復習	20分
第3回 Chap2 仕訳と転記（Sec2 勘定と転記）	Sec2 勘定と転記の復習	20分
第4回 Chap2 仕訳と転記（Sec3 仕訳帳と総勘定元帳）	Sec3 仕訳帳と総勘定元帳の復習	20分
第5回 Chap3 決算の手続き（1）	Chap3 決算の手続き（1）の復習	20分
第6回 Chap4 現金（1）と当座預金（Sec1 現金と預金）	Sec1 現金と預金の復習	20分
第7回 Chap4 現金（1）と当座預金（Sec2 当座預金）	Sec2 当座預金の復習	20分
第8回 Chap5 商品売買（Sec1 三分法～Sec3 返品）	Sec1 三分法～Sec3 返品の復習	20分
第9回 Chap6 その他の費用と収益	Chap6 その他の費用と収益の復習	20分
第10回 Chap7 手形	Chap7 手形の復習	20分
第11回 Chap8 その他の債権債務（Sec1未収金と未払金～Sec2 前払金と前受金）	Sec1未収金と未払金～Sec2 前払金と前受金の復習	20分
第12回 Chap8 その他の債権債務（Sec3仮払金と借受金～Sec4 立替金と預り金）	Sec3仮払金と借受金～Sec4 立替金と預り金の復習	20分
第13回 Chap9 現金（2）（Sec1 現金過不足）	Sec1 現金過不足の復習	20分
第14回 Chap10 税金・引出金	Chap10 税金・引出金の復習	20分
第15回 Chap11 有価証券と有形固定資産（Sec1 有価証券）	Sec1 有価証券の復習	20分
第16回 Chap11 有価証券と有形固定資産（Sec2 有形固定資産）	Sec2 有形固定資産の復習	20分
第17回 Chap12 株式の発行	Chap12 株式の発行の復習	20分
第18回 Chap13 決算の手続き（2）（Sec1 決算整理記入～Sec2 売上原価の計算）	Sec1 決算整理記入～Sec2 売上原価の計算の復習	20分
第19回 Chap13 決算の手続き（2）（Sec3貸倒れの見積り～Sec4 消耗品費の処理）	Sec3貸倒れの見積り～Sec4 消耗品費の処理の復習	20分
第20回 Chap13 決算の手続き（2）（Sec5費用の繰延べ～Sec6費用の見越し）	Sec5費用の繰延べ～Sec6費用の見越しの復習	20分

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第21回 Chap15 伝票関係・試算表 (Sec1 3伝票制)	Sec1 3伝票制の復習	30分
第22回 全経簿記3級過去問対策(1) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(1)の復習	30分
第23回 全経簿記3級過去問対策(2) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(2)の復習	30分
第24回 全経簿記3級過去問対策(3) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(3)の復習	30分
第25回 全経簿記3級過去問対策(4) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(4)の復習	30分
第26回 全経簿記3級過去問対策(5) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(5)の復習	20分
第27回 全経簿記3級過去問対策(6) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(6)の復習	20分
第28回 全経簿記3級過去問対策(7) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(7)の復習	20分
第29回 全経簿記3級過去問対策(8) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(8)の復習	20分
第30回 全経簿記3級過去問対策(9) (授業内でディスカッションをしながら演習を進める)	全経簿記3級過去問対策(9)の復習	20分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>全国経理教育協会の簿記能力検定試験3級(7月実施)の成績90%、授業への貢献・積極的関与10%で評価する。なお、全国経理教育協会の簿記能力検定試験3級不合格者については定期試験を行い、80/100点換算で評価する。</p>		
課題に対するフィードバック		
定期試験は、希望者には事務局を通して返却する。		
教科書・参考書		
<p>「全経 簿記能力検定試験 公式テキスト3級、新田忠誓、ネットスクール株式会社」を利用して説明を行う。「全経 簿記能力検定試験 公式問題集3級、新田忠誓、ネットスクール株式会社」を利用して問題演習を行う。「簿記能力検定試験過去問題集3級(全国経理教育協会発行)」を利用して、簿記能力検定試験3級の受験対策を行う。</p>		
備考		